

---

# 真っ白な君へ

karinko

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

真っ白な君へ

### 【コード】

N9900G

### 【作者名】

karinko

### 【あらすじ】

彼女の命を助ければ今までの記憶がすべて消える。それでも…彼女の命が助かるなら…

「彼女の命を助ければ今までの記憶がすべて消えてしまいます。」

医者の口から出された残酷な事実。

「ウソ…だろ…??？」

思わず呆然としてしまう。

担架の上の血まみれの少女がわずかに目を見開いた。

少女は事故でひどい重傷を負っていた。

その少女の命を助ければ今までの記憶がすべて消えてしまう。

彼女のいままで過ごしてきた時間。

楽しかったこと。

うれしかったこと。

悲しかったこと。

悔しかったこと。

そして…

自分と過ごした時間。

笑いあったこと。

ケンカしたこと。

支えあったこと。

愛し合ったこと…

彼女の16年間でつくりあげてきた色がすべて落ちてしまっ

でも…

命は助かる…

それなら…

「それでもいい…それでもいいから！こいつを助けてくれ！」

「…最後に彼女と話しておくかい？」

手術室のまえで担架が止まった。

「と…も…き…私…忘れたくない…！」

とぎれとぎれの声で必至に訴える少女の手をぎゅっと握る。

「理恵…」

「忘れるくらいなら…死んだ方が…」

「そんなこと言うな！」

少女の涙をぬぐった。

「たとえおまえがオレのことを忘れても…オレはずっとおまえの」とを覚えてる。おまえはずっとオレの中にいるんだ…！」

ふるえながら首をふる彼女の唇にそっと自分のそれをおとす。

少女をのせた担架は手術室の中に吸いこまれていった。

バタン…

扉が閉まり【手術中】とランプが灯る。

……これで、いいんだ。

彼女の命が助かるのならそれでいい。

たとえ彼女がオレのことを忘れたとしても…

オレはずっと彼女との思い出を忘れない。

さようなら。

理恵。

「あなたは…誰?？」

真っ白なベッド。

天上。

そこにすべてを失った真っ白な少女がいた。

ともきつ！

にっこり笑いながらオレの名前を呼ぶ少女の姿が頭によぎる。

あの明るいオレンジ色の少女はもういない。

だけど…

「はじめまして。上原智樹だ。」

にこりと少女に笑いかけた。

新しい理恵。

はじめまして。

オレが、

君に新しい色をつけていく。

君の思い出は消え去ってしまったけれど…

また一緒に新しい思い出をつくってほしい。

前の思い出に負けないようにな。

すばらしい時間を2人で過ごそう。

(後書き)

命と記憶。

あなたならどちらを選びますか？

好きな人が自分のことを忘れるって…

悲しいですよね…

でもやっぱり命を助けると思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9900g/>

---

真っ白な君へ

2010年10月26日06時09分発行